科目名	プログラミング基礎Ⅰ　　Introduction Programming Ⅰ						
科目担当者	川島 秀樹　　KAWASHIMA Hideki						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義／実習	開講学期	前期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(1)(3)
授業の概要	コンピュータを駆使してシステム構築の問題解決をはかるには、プログラミングを学ぶ必要がある。この授業では、人工知能の深層学習に適した言語である Python を取り上げ、プログラミングの基礎となるアルゴリズムを学ぶ。本授業を通して、コンピュータによる情報処理能力の一層の向上をはかることを目的とする。						
授業の到達目標	①　情報システムのプログラミングについて体系的・系統的に理解し、関連する技術を身につける。 ②　プログラミングの学習を通して、コンピュータの仕組みについて理解を深める。 ③　プログラミング言語 Python を用いて簡単なプログラムを作成できる。						

授業計画・内容		
	1	イントロ、Jupyuter Notebook の使い方
	2	変数の取り扱い、いろんな組み込み型、演算
	3	インポート、math モジュール、乱数を使用する
	4	プログラムの処理を分岐、IF 文
	5	処理を繰り返し（for 文）関数（ユーザ定義関数）
	6	ループを活用する、例外の処理　名前空間
	7	問題演習①
	8	文字列を活用する
	9	リストタプルを活用する
	10	問題演習②
	11	辞書と集合の操作
	12	オリジナル関数を作成する
	13	テキストファイルの読み書き
	14	問題演習③
	15	総合演習

授業外学修 (事前学修)	毎回、教科書の対象範囲を一読し、それぞれの命令文がどのような意味を持っているのか調べておく。（毎週 2 時間程度）
授業外学修 （事後学修）	毎回演習問題を出すので、必ず解いておくこと。（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験（実技試験）	50%	③
	課題	30%	①②③
	平常点（講義中の態度・質疑・発言等）	20%	①

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	大津　真著，(2021)，『基礎 Python 改訂 2 版(IMPRESS KISO SERIES)』，インプレス．
参考文献	必要な資料は、適時配布する。
その他	プログラミングはコンピュータ利用の基礎であり、保健医療、経済・経営データ分析の手法となる。理解して行くコツはプログラムを作ることで、簡単な問題処理から進めて行くことが近道である。 この言語を勉強することで、ＩＴがよく理解できるようになり、就職してからも他の人より一歩抜け出すことができる。プログラムを作る楽しみを共有できたらと思う。 初回からノートパソコンと LAN ケーブルを必ず持参すること。 五分の四以上の出席を要件とする。 所定の講義回数を超える欠席については単位を認定しない。